

マルトミです

日頃のご愛顧に心より御礼申し上げます。



お知らせ

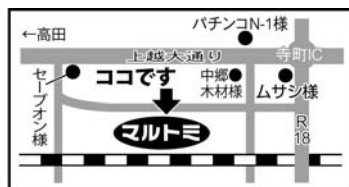
- ☆ 今年の夏は暑かった割に意外に残暑は続かず、8月後半頃からは涼しい日も多くなってそのまま秋に移行した感じです。数日前からキンモクセイの香りも漂い始め、いよいよ秋本番です。一部を除いて稲刈りも終了し、農家の皆様はホッと一息つかれていると思います。お疲れさまでした。
- ☆ ただいま除雪機の時期前点検を実施中です。お得なこの機会にぜひご利用ください。コンバインの使用後点検整備も承っておりますので、そちらもよろしくお願い致します。
- ☆ 10月4日・5日に除雪機商談会を開催し、その後もショールームに商品を展示してお得なセールを実施しております。機種によってはすでに品薄となっているものもございますので、どうかお早めにご相談願います。

マルトミカレンダー (10~12月) 赤色は休業日

10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4							1	1	2	3	4	5	6	
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31			
							30													

※ 4・5 展示会

※12/30・31 冬期休業
積雪の状況により休日でも営業致します。



株式会社 **マルトミ**
上越市西田中236-9(企業団地内)

TEL(025)524-1181 FAX(025)524-1184

E-mail: info@maru-takada.com

ホームページ www.maru-takada.com

除雪機の点検はお早めに ~簡単にできる点検のポイント~

雪のシーズンがだんだん近づいてきました。

いざというときすぐに快適な作業ができるよう、早めの点検をおすすめします。点検の際のとくに大事なポイントを3つあげておきますのでご参考にしてください。なお詳しくは取扱説明書をご覧ください。



① オイルはきちんと入っていますか。

とくにエンジンオイルの量が少なすぎたり汚れていたりすると大きなトラブルの原因となります。エンジンをかける前にまずエンジンオイルの確認をしてください。

② バッテリーがあがっていませんか。

始動のスイッチを入れてみて、セルモーターが回らなかったり、力が弱くてエンジンがかかりにくいときは、バッテリーがあがっていることが考えられます。その場合は液量が不足していないか確認したうえで、充電器で充電をしてください。

③ 古い燃料が入っていませんか。

始動のスイッチを入れてみて、バッテリーは充分あるのにエンジンがかからなかったり、かかってもすぐ止まったりエンジン音が波打ったりする場合、キャブレターが詰まっていることも考えられます。こうした現象は、シーズン後の格納時にキャブレター内のガソリンを抜いておくことと、古い燃料を使わないようにすることで防ぐことができますが、詰まってしまったキャブレターは修理が必要です。

※ 点検の方法などで何かご不明の点がありましたらお気軽におたずねください。

除雪機の点検、承ります。

ただいま当社では除雪機のシーズン前点検・整備キャンペーン中です。時期前にきちんと点検・整備しておくことで、いざというときも安全・快適に作業していただくことができます。

キャンペーン期間中(10月31日まで)は、小型機で8,200円からと料金もお得になっておりますので、ぜひこの機会に御利用をお願いいたします。



耕うん機・草刈機などの格納前のお手入れについて

除雪機とは反対に、シーズンを終えてもう来年まで使わない耕うん機や草刈機などは、長期格納の前に簡単なお手入れをしておく、翌シーズンもトラブルなく快適にご使用いただけます。

とくに、燃料を完全に抜いておくことと、さびやすい部分には注油しておくことが大切です。



ホームページに除雪機専用のページを設けました。

先月からマルトミの通常のホームページとはべつに、除雪機専門のページを設けました。ホンダ・ヤママー・ヤナセの除雪機の御買得価格や在庫の状況、中古機情報などを掲載しておりますので、関心をお持ちの方は時々覗いてみてください。 <http://josetuki.net/>か、または「マルトミ」のHPのトップページ右上をクリックしていただいてもご覧になれます。



また当社のメインページでは、各種のご案内や、当社の広報紙「マルトミです」のバックナンバーもご覧いただけます。

昆虫標本第4弾 展示中です。

ただいま 昆虫標本第4弾を展示中です。昨年夏に高田郵便局のロビーで展示した「虫展」の標本の中から選んで展示しているもので、とりあえず今回で最後となります。スペースの都合で、点数は多くありませんが、世界と日本のなかなか見る機会のない昆虫と、高橋桃子さんのきれいなイラストがご覧になれます。今年いっぱい飾ってありますのでこちらにお出かけの際はぜひお立ち寄りください。



お客様訪問

上越市 野俣正彦さん 澄江さん

御主人は、もともと上越の方ですが、お父さんのお仕事の関係で静岡で生まれて育ち、こちらに戻ってご結婚された後、今度は国鉄の職員として、奥さんとご一緒にずっと転勤続きのお仕事を続けて来られました。

定年を迎えてようやくご実家に帰り、それからはずっとお二人で悠々自適の生活を送っておられます。

若い頃はスポーツが得意で、ゴルフはオフィシャル・ハンディもお持ちの腕前ですが、今はもう控えておられると伺いました。お庭の手入れと畑仕事が今の御趣味だそうです。お庭は手作りで、冬囲いや剪定もすべてご自身でされています。



もちろん当社の大切な御得意様でもあります。農家様以外で当社の機械を10台もお持ちの御客様はそうはおられません。機械が好きだからとおっしゃいますが、かつて売上げが足りないと訪ねて行って無理を言っては助けて頂いていた私の責任でもあります。野俣さんご夫妻には頭が上がりません。

有難うございました。これからもよろしくお願い致します。



キキョウ 秋天の色の花

天候不順で大変だった今年の夏があっという間に終わり、やわらかな日差しに秋の気配が感じられるようになりました。この時期、空がキキョウの花の色に変わります。桔梗色という色名のとおり、青紫色に灰色をほんの少し混ぜたような優しい色です。

「秋の七草」の一つに数えられ、秋草の代表ともいえるキキョウは日本全国の山野に分布し朝鮮半島から中国にまで見られる、すがすがしく凜とした風情の野草です。花が美しいばかりでなく、その太い根は重要な漢方薬材とされ、痰やせきを鎮め、消炎、排膿などの効果があるとされ、さまざまな薬品に配剤されています。平安時代に地方の国々から都へ運ばれた薬草のリストにも残されており、その薬効は古くから知られていました。またスッキリとした五角形の花の形から「家紋」として図案化されたり、陰陽師として一時話題となった阿部清明を祀る「清明神社」の神文（五芒星）にもなっているそうです。一方で地方名は、東北から中部にかけての諸県で「ボンバナ」という名前が記録される程度で数少なく、キキョウの名が古くから定着していたことの証といえるでしょう。

ところで秋の七草の始まりは奈良時代の万葉歌人山上憶良の詠んだ歌からといわれていますが、この歌にキキョウの名は登場しません。歌に出てくる「アサガオ」がキキョウを指すというのが古くからの説で、異論もありますが私はこれでよいと思います。そして遣唐使にも選ばれるほどの漢学の教養豊かな彼が「桔梗」という名を知らぬはずは無かったと思われるのに、あえて古来からの和名を使ったことに憶良の優しさ、ゆかしさを感じます。キキョウの名は漢名である桔梗（キチコウ）が変化したもので初めて文学作品に出るのは平安時代の「古今集」からで、それ以降和歌や文章に頻繁に登場するようになります。そして憶良の詠んだ歌から時代が下って平安時代に入ると、アサガオはもっぱら中国原産で薬種としてもたらされた現在のアサガオ（牽牛子）を指すようになります。当時のアサガオは青一色の小さな花をつけるものだけだったらしいのですが、わが国の花には少ない透明感のある青色と物にからんで伸びる様子が珍しかったのか、源氏物語、枕草子など有名な作品にも登場しています。



かつては全国の草原や明るい林に広く見られたキキョウも開発や生活習慣の変化から、次々と生育地が減少し、ほとんどの地域で絶滅危惧種に指定される事態になってしまいました。私たちの住む上越市でも愛の風や滝寺といった場所でしばしば見かけたものですが、今では完全に昔話になってしまいました。キキョウをはじめ多くの里山の植物は人と場所を同じくして生きて来ました。人が関わらなくなった場所では消えてゆくほかは無いです。悲しく寂しい話ではありますが。

